

新型コロナ拡大防止 山梨大・島田学長が提言

不十分なPCR検査 日本の恥

新型コロナウイルスの感染拡大の中で、厚生労働省と感染症専門医らは、「医療崩壊を起さないためにPCR検査を抑制する」との方針をとり続けてきた。これに敢然とNOを掲げ、「PCR検査の不十分な体制は日本の恥」と言い切るのは山梨大の島田真路学長(左)。当初より同大ホームページなどで政府の政策を批判。大病院での積極的な検査などを進めてきた。島田氏の言う「恥」とはなんなのか。(片山夏子)

「感染症の拡大防止には、患者を検査で見つけ隔離するしかない。検査を重症者に絞り、市中感染がどのくらい広がっているのかわからない国は、最初から何もかも間違っている」

「こちら特報部」のテレビ電話取材に応じた島田学長は、こう強調した。

島田氏が指摘する通り、国は、最初からはっきりとPCR検査の拡大に後ろ向きだった。当初は中国・武漢



PCR検査用の検体の検出をする検査技師＝1日、山梨県中央市の山梨大医学部附属病院で(同病院提供)

漢帰りの人だけが対象だったし、その後中国内の対象地域を広げたが、検査の対象となるのはその帰国者および濃厚接触者のみ。さらに「発熱後四日間は自宅待機」の後、やっと帰国者・接触者相談センターに電話相談ができるが、そのセンターに電話しても検査拒否が相次いだ。

「政府は、当初は東京五輪を予定通り実施したくて、ぎりぎりまで検査を絞って感染者数を増やしたくなか

感染症対策は患者見つけ隔離しかない

無症状や軽症者 推計すらできず

検査のハードルを高くした結果、重篤に近い状態にならなければ検査を受けさせない事態が各地で頻発した。その一方、国はクラスター(感染者集団)対策が

触者相談センターのお墨付きがないと検査ができない体制や、「検査拡充すれば軽症者が大量に判明して入院患者となり、病床を圧迫するので医療崩壊する」と感染症専門の医療関係者らが盛んに主張したため、検査抑制につながったとみる。

「検査を絞ったことで感染者も死者も見逃された。偽陰性、偽陽性が出るというが検査では当たり前。それも含め医師が総合診断をする。医療崩壊させないためにも、とにかく検査をして軽症者は自宅やホテルに、重症者だけを医療機関にと当初から分けるべきだった」

厚労省や感染症専門家主流は「検査拡充なら医療崩壊と再三唱え、"あえて拡充しない"姿勢だった。だが、政府新型コロナウイルス専門家会議の尾身茂副座長は、日本の体制では「拡充できなかった」と言う。できないのも「恥」だが、その実態を隠しての「あえてやらない」も「恥」だ。(歩)

重要として、感染経路をたどるクラスターをつぶしに奔走。そこにPCR検査を集中させた。いずれ感染経路不明者が多数になり、クラスターが追えなくなることは分かってきていたのに、だ。結果、無症状や軽症の感染者がどれくらいいるかは推計さえできない。

島田氏は日本のPCR検査の不十分な体制は、日本の国際的信用を揺るがしていると危惧する。「陽性者数や死亡割合が近い国を人口比率で比較したら、日本はパキスタンやアルゼンチンと同じ。米国大使館は日本は検査実施数が少なく有病率評価が困難だとして、米国人に日本からの帰国を促した。不十分なPCR検査体制は日本の恥だ」

マイナ



マイ

号入力の失敗などで、申請できなかった人たちが自治体窓口に詰め掛け混乱した。一方の郵送申請の場

使えようとするとし、公務員に半ば強制的に取得を促す。学生証や職員証、図書館カードなどとしての

申請するのは難しいから、カードの有無にかかわらず、窓口では郵送申請を勧め

新規

呼び掛けながら、窓口に来なければならぬ状況を招くのは本末転倒だ」

鼻呼吸を促す口閉じテープのバイオニア

売れます!

ネルネル 126回 ¥6,830 (送料800円含む 税抜6,210円)

申し込み専用フリーダイヤル(無料電話) **5日前後でお届けします!**

お問合せ専用 **03(5695)0909**
FAX 03(5695)0707
[受付時間]年中無休/あさ9時~よる9時

●商品のお届けは、お申し込み後5日前後●お支払いは商品お届け時、代金引換(手数料無料)となります。●お支払い金額が2万円超の場合、各種クレジットカードがご利用できます。●万一、未使用で商品が返品された場合は送料負担でお返し下さい。ご返金致します。●ハガキ・FAXでのお申込みは商品名・住所・氏名(フリガナ)・必ず電話番号を明記し捺印して下記の弊社住所宛にお送り下さい。●お客様の個人情報は弊社からの商品の発送、及び商品の案内以外には使用いたしません。

いびき・喉の乾きの

80%超が口呼吸

正しい呼吸は鼻での呼吸で、鼻で異物を除去し湿潤な空気を気道から肺に送ります。これに対し口呼吸は、パイプ等を肺に直接送り喉を痛めたりします。口を開けて寝ると、喉が狭まり気道を塞ぎ、呼吸時の摩擦で振動となり、これがいびきの音となります。

鼻呼吸にすると気道が拡がり

空気が気道を通りやすくなります。

50mm

いびきで悩む人の駆け込み寺 池松いびき研究所 推奨

こちら特報部



島田氏がこれまで厳しく国の対策を批判するのは、自らの大学で危機感をもって対応してきたからだ。

島田氏が新型コロナウイルスに強い危機感を抱いたのは、一月二十五日。中国・武漢の医療機関のニュースを見た時だった。「フル防護の医療関係者が病院であふれる患者を診ていた。これはすぐに準備をしないと大変なことになる」と直感した。

二〇二〇年の中国などでの重症急性呼吸器症候群（SARS）流行の際、同大医学部附属病院の感染対策委員長を務め、「当時は一例への対応が精いっぱい複数例出たらお手上げ。何もできずに終わった反省があった」からだ。今回、島田氏は武漢の報道の二日後に院内対策会議

感染者減少 今こそ 体制拡充を



4月、ドライブスルー方式のPCR検査のシミュレーションを行う山梨大医学部附属病院職員＝同病院提供

を開き、独自のPCR検査体制をつくった。そこに集団感染が起きたダイヤモンド・プリンセス（DP）号の患者受け入れの話が来る。十人を受け入れた県内の病院からのSOSだった。

ただ、山梨大は感染症指定病院ではない。患者の受け入れは院内でも反対が強かった。医療者も感染し、

命の危険もある。だが、「人道的見地から患者を受け入れよう」とスタッフを説得。感染者受け入れ病棟を工夫し、DP号の患者六人を受け入れた。

その後、今度は県内の感染者が入院するようになった。うち二例目の意識不明の二十代男性は髄膜炎を発症しており、「肺炎だけでなく神経系の症状に注意す

「PCR検査と体制を整えるべきだ」と島田真路学長が山梨大の記者会見で訴える

る必要があることが分かった」として情報共有のため、すぐに記者会見を開いた。三月末に心肺停止で救急搬送された八カ月の乳児は感染の疑いはなかったが、一人の小児科医が乳児の肺の画像に影があったことから、PCR検査を行って感染を確認した。

五月からは、県と協力しドライブスルー方式の検査

「経済死ぬ」非常事態継続なく指標

を導入している。入院患者三百七十人全員に検査をし、感染者ゼロを確認した。「院内感染は恐怖。慶応大病院が新入院患者の検査をしたら7%を超える数字が出たのを見て実施した」

現在は八都道府県を除き緊急事態宣言が解除され、患者が減少傾向にある。だが、今こそ検査を拡充すべきだと島田氏は言う。「このウィルスとの闘いは簡単ではない。大病院や大学の研究機関など検査依頼先を増やし、できるだけ多くの感染者を拾い、市中感染の広がりを把握し、感染者を隔離すべきだ。このまま重要な指標を見失い続けば、緊急事態宣言を出し続け、そのうちに経済が死んでしまう」

安田二朗・長崎大感染症共同研究拠点教授（ウイルス学）も「日本のPCR検査は諸外国に比べて圧倒的に少ない」とみる。安田氏は、さいたま市が重症者増を恐れて検査を抑えていた事例を挙げ、「検査技術者がいない、医療機関や保健所がパンクするなど過剰な対応も働いた」と言う。

今後、国公立大学などの付属病院などでPCR検査や病原体を扱う場所での検査体制を広げ、臨床医が

第2、第3波へ備え 「対象」広げる必要

初期段階での把握重要

感染を疑う患者、また患者に接する医療関係者、患者の看病をする家族など、患者に一次対応する人には検査すべきだと訴える。国立病院機構二重病院の谷口清州・臨床研究部長は「流行第二波、第三波に備え、検査対象を広げておく必要がある」とする。早期に終息傾向となったニューシーランドの例を挙げ、発熱または味

覚障害、上気道障害のいずれかの疑いで検査するなどして第二波到来の初期段階での把握が重要だとする。

一方で、無症状や軽症者を把握するためにも、学校や会社などでのクラスター発見も必要だという。「日本は重症者やクラスター捕捉ばかりに注力したが、一例一例の発見と同時並行でするのが国際的な標準。イ

ンフルエンザでは以前、全国約五千の定点病院の報告から地域の傾向を探った。コロナも検査を拡充し、感染者の発生状況や変化を体系立てて分析すべきだ」

今後、症状の見分けられないインフルエンザとの同時流行もあると予測する。「その時に混乱しないためにも、これまでの日本の対応の問題点を反省して整理し、検査体制の拡充を含めた診断や治療法の確立を今すぐにする必要がある」

話題の発掘

東直子

けしの実はシンの上世界とつ点描画の粒立静岡県富士宮市

（評）シンの上とで存在感を実際「粒立ち」と語により、現実のさを得た。

東直子

踊らされ少しあなたににぎり靴の中でつぶれ

（評）三句目で、う。調子にのって気分を少し味わって返った。つぶれ無力さの象徴。

石田郷子

人間は何度目ですか上がる蔵に尋ねられ

東京都杉並区

居場所なきフレイボ

東京都世田谷区